



口内炎がなおらない。





これは人里離れた過疎地域の
熊獣人だけが住む村で



父ちゃんとふたりで
暮らしている、





あるものへの興味で
頭がいっぱいの
僕の話だ。

危ない…

そうか…

ううん！
大丈夫！

数か月前

こう…

父ちゃんが夜中に
やってたんだけど…

フ
モッ

きっかけは
村の友達が見せてくれた
自慰行為だった。

うっ…出る…

これがさ…
すごく気持ち良…

初めて見る性知識は
とても衝撃的だった。

ユキ...

でもそれ以上に僕は
他人のちんちんに

ユキ？

おい！

ユキってば！

か...

見すぎだったの！
さすがにちよっと
恥ずかしいよ！

異常な興味を持つように
なってしまった。

あ、ごめん

ユキ...



家の中の一番近くにある
一番の誘惑に
目が離せないでいた。



…そして今に至り、



おっ

トーマじゃねえか



よお

フブキい
遊びに来たぜ



トーマおじさんは
父ちゃんの幼馴染で、
月1くらいの頻度で
家に遊びに来る。



持ってきたお酒を
僕が寝た後に
父ちゃんと一緒に
酔って寝るまで飲むのが
習慣になっている。



そしてそれが
僕が欲望のままに動く
きっかけを作ってくれている。



おじさんも
寝てるな...

チラ

なぜか酔って眠った
父ちゃんは朝まで
絶対に起きない。

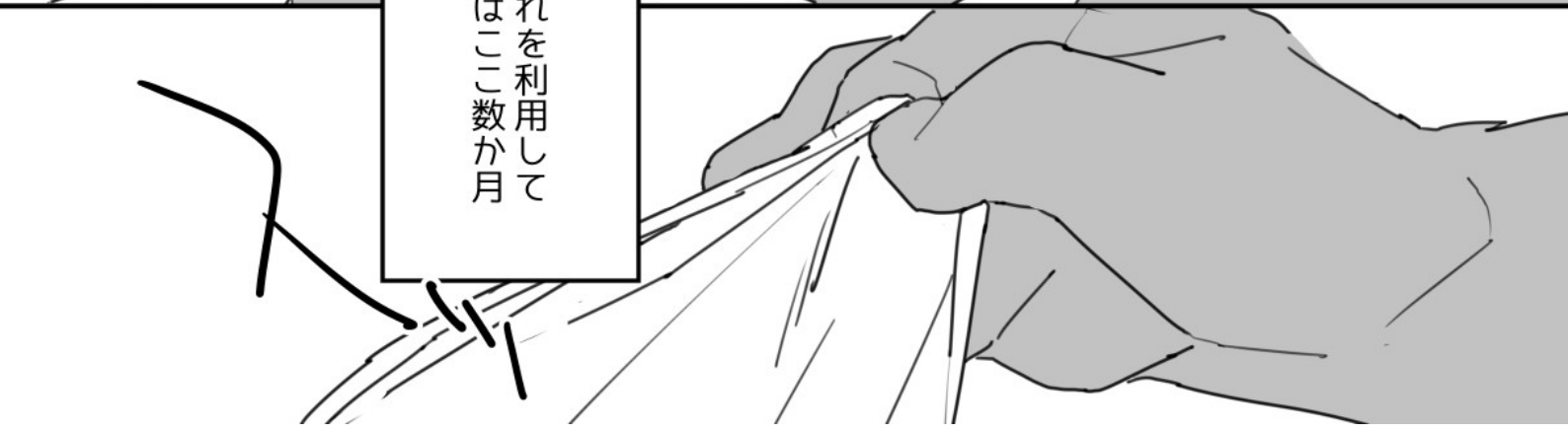


よし...

ヒキ

ヒキ

それを利用して
僕はここ数か月



ヒキ

父ちゃんのちんちんを
こっそり堪能している。

ああ

ひたびさの

父ちゃんの
生ちんちん…





へえ

…ユキ坊はそっちに
興味があるんだなあ

ヒッ
フッ

おっ
おっ

おじさんが
気持ちよく寝てる間に
こんなことしてたんだ。

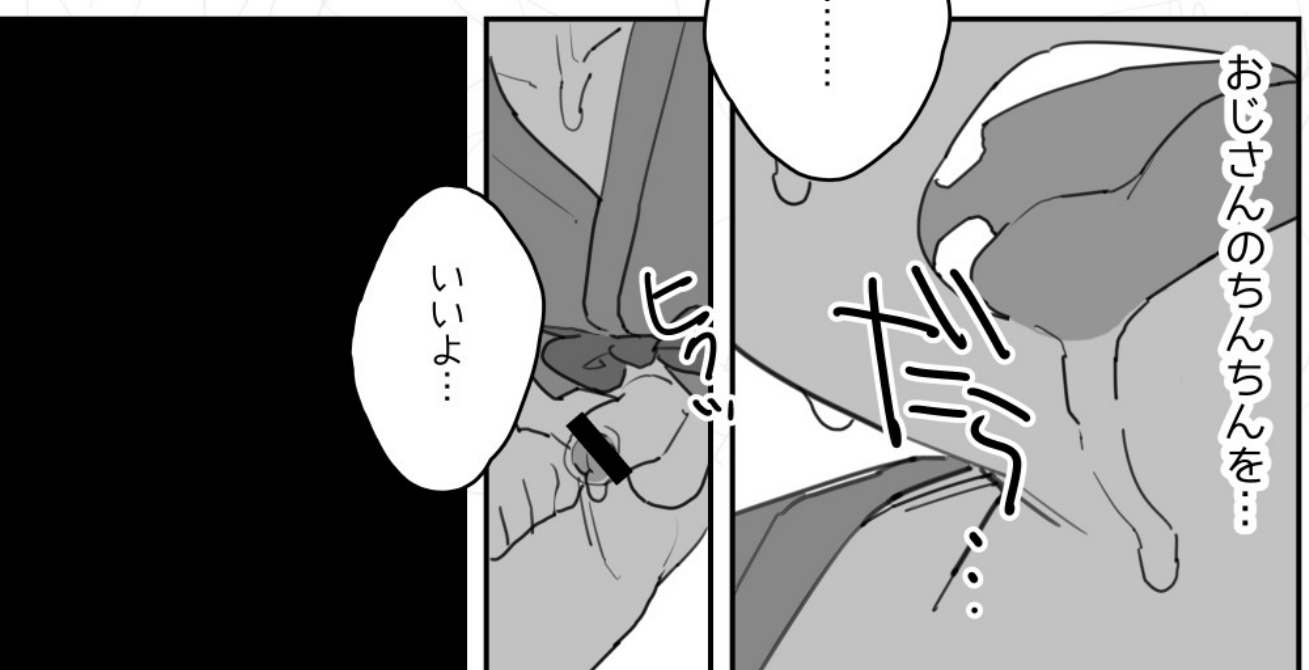
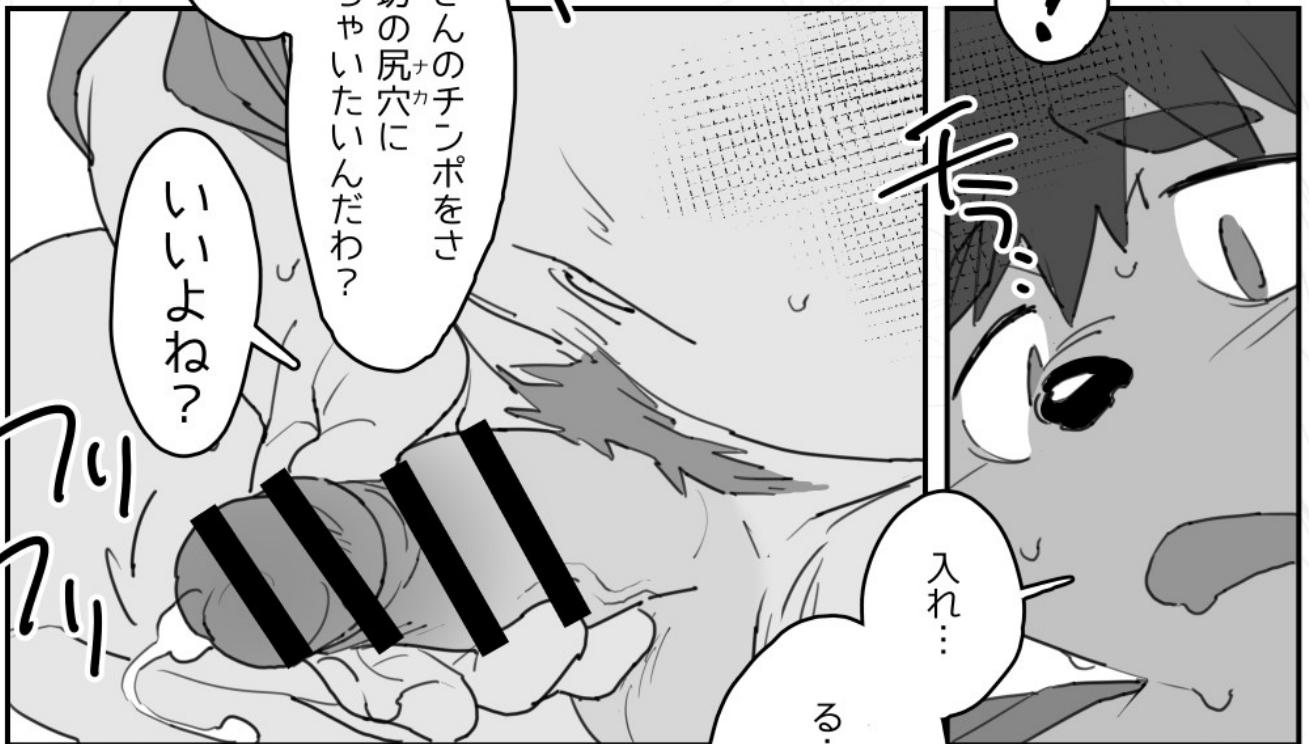
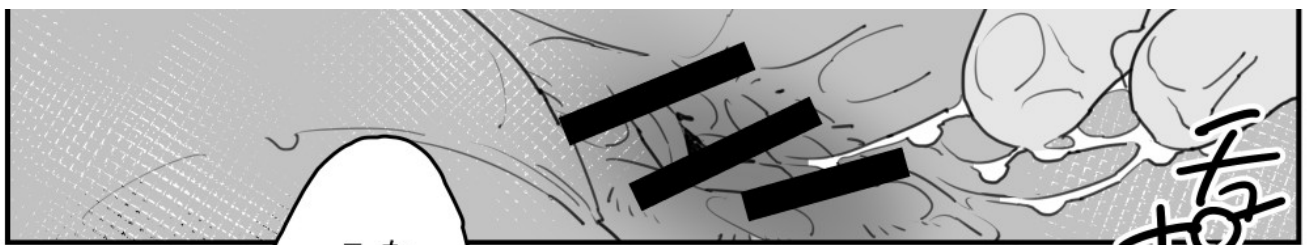
一
タ
ッ

おじさん…

もちろん
バレないはずもなく…







なあ：
ユキ坊…

さっきの事は
フブキには黙っておいて
やるからさ…

おじさんのチンポをさ
ユキ坊の尻穴^{ナカ}に
入れちゃいたいんだわ？

いいよね？

入れ…

る……

いいよ…

おじさんのちんちんを…



あ、やべ
奥さんのこと
ユキ坊には
秘密だったわ(笑)

フブキごめんな!
お...出すぞ!

ズ
ッ

ズ
ッ

ズ
ッ

ズ
ッ

ズ
ッ

ズ
ッ

ズ
ッ

ズ
ッ





別にいいよ

母ちゃんの事聞かなかったことにするからさ

お尻の奥に思いつきり中に出されるの…すぐ気持ちよくて僕も出ちゃった…

もっと欲しい…

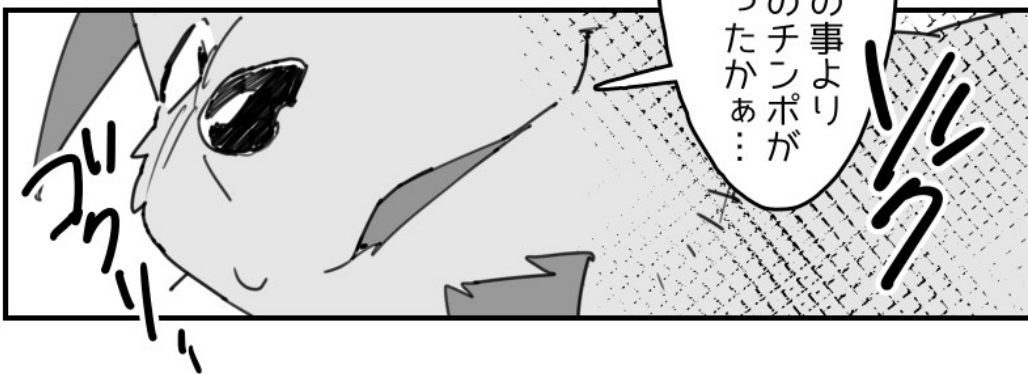
そんなことより

これで…
まだできるよね？
おじさん。



へへ…

母ちゃんの事よりおじさんのチンポが勝っちゃったかあ…



母ちゃんのことは気にならないけど…わけじゃないけど…

朝陽が昇るまで
ガッツリ
付き合っ
てやるよ……！

今、頭の中にあるのは、僕に必要なものはおじさんのちんちんだ。



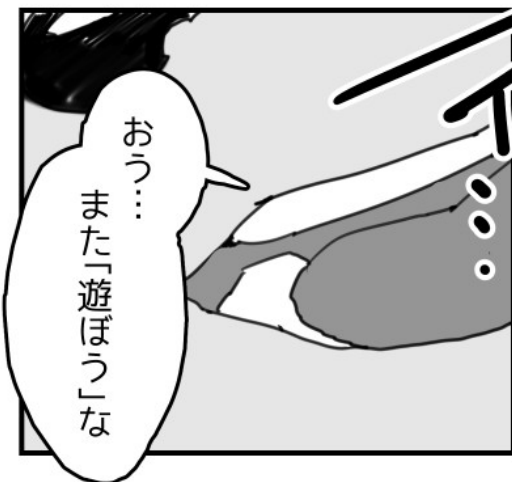


朝か…

あれ…ユキ？
トーマと二人で
飲んでたはずなんだが…

まあ…いいか。

そして幸か不幸か
何もなかったように
いつもの朝を迎えた。



そんなじゃ俺らも
仕事行くか。

うん。

あ、

おじさんのたれて
きちゃった…

…今度は
父ちゃんとおじさん
3人で一緒に
できたらいいなあ…

僕の頭の中は
よりいっそう
ちんちんの事で
いっぱいになっている。

おしまい。

ちよつと先の出来事



もっと先の出来事





